

◇◆ほっかいどう防災教育協働ネットワーク◆◇
～メールマガジン第 37 号(平成 29 年 7 月 25 日発行)～

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◆ I N D E X ◆◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

【1】トピックス

【2】東日本大震災被災地派遣レポート ～派遣職員として震災復興に取り組んだ1年～(3)
編集後記

【3】北海道庁からのお知らせ

【1】 トピックス

こちらは、主に北海道内の防災の話題を紹介しています。今月は協働ネットワーク会員「札幌管区气象台」様の取り組みを紹介します。

■ 7月31日(月)小・中学校教諭の方を対象とした防災教育研修会があります！

札幌管区气象台では、7月31日(月)10時から、主に小・中学校教諭の方を対象とした「授業で使える！学校防災教育 夏の研修会」を開催します。

この研修会は、札幌管区气象台が学校における防災教育を支援・推進するために一年に2回開催しているものです。今回の研修会では、北海道教育大学札幌校の佐々木貴子教授から命を守る防災教育の重要性についての講義の後、北郷小学校で9月1日に実施される防災授業の概要のほか、北海道教育大学附属中学校の防災教育の実践例を紹介します。午後からは、大雨を題材としたワークショップを実施し、大雨に対する日ごろからの備えや防災気象情報を活用した安全行動について意見交換を行います。

また、研修会終了後は气象台見学を行うほか、札幌市提供の防災用品の展示、非常食の試食も行います。

日時：平成29年7月31日(月)10時00分～16時00分

場所：札幌管区气象台札幌市中央区北2条西18丁目

お申し込みは、札幌管区气象台防災調査課まで(011-611-6149)【7月28日まで】

詳しくはこちらのホームページをご覧ください。

[http://www.jma-](http://www.jma-net.go.jp/sapporo/bousaikyouiku/schoolbousai/trainingworkshop/trainingworkshop.html)

[net.go.jp/sapporo/bousaikyouiku/schoolbousai/trainingworkshop/trainingworkshop.html](http://www.jma-net.go.jp/sapporo/bousaikyouiku/schoolbousai/trainingworkshop/trainingworkshop.html)

【2】東日本大震災被災地派遣レポート ～派遣職員として震災復興に取り組んだ1年～(3)
当課西谷内の「東日本大震災被災地派遣レポート」。今回は、山田町の仮設住宅について
です。(昨年度、岩手県山田町へ派遣)

山田町の仮設住宅は、平成28年度末で約1,800戸、約1,900人、被災者が居住し、津波
で浸水しなかった場所に住民の元の住居地に配慮しながら町内42箇所で建築されました。
場所によっては、小中学校のグラウンドにも建築されています。

津波により家財道具一切を流された被災者の方がいので、テレビ、エアコン、冷蔵庫、洗
濯機、ガス台等、住居以外のものも無償で貸し出され、空いている仮設住宅には、ほとん
どの派遣職員も入居しています。

仮設住宅が建築された多くの場所は、中心市街地から遠く離れた場所にあり、移動手段の
ない高齢者は、買い物、通院にも大変不便な状況が強いられています。

夏場は、蒸し暑い住環境から体調を崩す方が多いことや、復興住宅に転居する被災者が
増えるにつれ、仮設住宅団地内のコミュニティが希薄化するという状況から、体と心のケア
のため、町の保健師が仮設住宅を定期的に巡回するという取り組みも行われています。

1年間、仮設住宅に住んでみて感じたことは、北海道では、冬の寒さと積雪の問題もある
ので、被災者が少しでも生活しやすくするため、考えなければいけないことは東北よりも多
いということです。

被災者の様々な事情により、復興住宅や高台団地へ転居できない方も多く、また、仮設住
宅の集約化によるコミュニティの希薄化といった課題もあり、心の復興への道のりは、まだ
まだ遠い状況です。

今回のレポートは、嵩上げされた区域の新しい町並みについて報告します。

【3】北海道庁からのお知らせ

- 大雨災害から一年 防災啓発キャンペーン「まさかは必ずやってくる」
台風や低気圧、前線の影響により繰り返す大雨に見舞われ、河川のはん濫や土砂災害に

より道路の崩落、橋梁の落下など甚大な被害を受けた昨年の大雨災害からまもなく1年となります。道では今夏、道民の皆様に変更して大雨災害への危機意識を高めていただくため、本ネットワークに参加していただいているNHK札幌放送局やコミュニティFM北海道協議会をはじめとした道内の各放送局と協力し、「まさかは必ずやってくる」をキーフレーズとして、動画・音声素材を活用した幅広い啓発を行います。

8月1日から9月30日の取組期間、放送局各局は、情報番組の防災コーナーや自社宣伝枠などで、道の提供する啓発素材（テレビ用動画15秒、ラジオ用音声20秒）を放送するほか、ホームページ等による紹介、防災イベント等での公開などを行います。

道も危機対策課ホームページに啓発用ページ「まさかは必ずやってくる」を設け、これらの素材を公開するとともに、道内各地のハザードマップやDoはぐの紹介、避難情報の種類の説明などを掲載します。（8月1日に公開予定です。）

大雨災害から命を守るには、気象情報や自治体からの避難情報に十分注意し、早めの避難行動により安全を確保することが大切です。

ネットワークに参加する皆様も是非、道のホームページやテレビ・ラジオの啓発素材をご覧いただくとともに、フェイスブックで共有していただくなど取り組みに加わっていただき、あわせて日頃の防災教育の中で、大雨災害時の避難行動の大切さをお伝えしていただけたらと思います。

■ 広報誌ほっかいどう8月号の特集は「防災」です。

年5回発行している「広報誌ほっかいどう」。今回8月号の特集は「備えよう！万一のためにできること」がテーマ。

「北海Do防災かるた」の表紙の下には、昨年の上川・十勝管内を襲った大雨災害の情報を。見開きには、防災情報の収集方法をはじめ、避難所運営ゲーム北海道版(Doはぐ)や消防団の紹介を行っています。「まさか」を繰り返さないために、日頃の心構えと備えが大切です。

【広報誌ほっかいどうのページ】

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/tkk/k.htm>

■ 「北海Do防災かるた」が、よりお求めやすくなりました!!

広報誌ほっかいどう8月号にも掲載している「北海Do防災かるた」。現在、大丸藤井セントラル(札幌市中央区南1条西3丁目)の1階「文具雑貨のフロア」と「4階和のフロア」で販売されていますので、是非購入していただき、町内会や自主防災組織などの防災イベント等にご活用ください!

【大丸藤井セントラルのページ】

<http://www.daimarufujii.co.jp/central/archives/104382>

■ 北の災害食レシピコンテストの応募締め切り

北の災害食レシピコンテストの応募が 7 月 14 日(金)をもって締め切りとなりました。200 件を超えるご応募をいただきました。アイデアあふれるレシピに感心させられたり、小学生からの応募作品に思わずにっこりしたり…。事務局一同、作者の思いを真摯に受け止め、28 日の審査に向け準備中です。

例年になく暑い今年の夏に、『北の災害食』のコンセプトのひとつである「厳冬期の避難生活」を考えるのは大変だったかもしれませんが、レシピを検討することで、避難生活が長引いた状況を想像していただき、改めて日頃の備えについて考えるきっかけにしてくれたのではないかと考えています。

ご応募いただいたレシピの中から、特に道民のみなさんに広く活用していただきたい作品をレシピ集としてまとめていきたいと思います。9 月 1 日(金)の防災総合訓練では、最終審査で実演も行う予定です。

【編集後記】

7 月の北海道は、安平町で発生した震度 5 弱の地震から始まり、11 日連続となる猛暑日、先週末・先々週末の大雨と、あまり体験したことが無い事態に、断続的に襲われたため、災害や異常気象について考えさせられた月であります。本州では、梅雨が明け、そろそろ本格的な台風シーズンが到来します。今年の事もあり、北海道も無縁ではなくなった台風。「まさかは必ずやってくる」という認識の中、日々業務に勤しみたいと思います。(もっち)